

令和7年度

静岡県青少年赤十字 高校生メンバー研修会

日本赤十字社静岡県支部



CONTENTS

01	研修の概要	1
02	研修のスケジュール	2
03	本年度の参加校	3
04	第1回「オリエンテーション」	4
05	第2回「炊き出し体験・防災セミナー」	5
06	第3回「人道実現プログラム」	6
07	第4回「Cleanup Project」	9
08	第5回「赤十字救急法競技会」	10
09	第6回「人道実現プログラム報告会」	11
10	第7回「NHK海外たすけあい街頭募金」	12
11	第8回「年間活動報告・まとめ」	13
12	事務局からのメッセージ	14

01 研修の目的

PURPOSE

1

高校生メンバーが、青少年赤十字について理解を深めた上で、実践目標である「健康・安全」「奉仕」「国際理解・親善」に沿った具体的な活動を行う中で、青少年赤十字の態度目標である「気づき、考え、実行する」力を育む。

PURPOSE

2

他校のメンバーと交流し、他校の取組みや活動に触れ、自校でのよりよい活動を考える機会とし、実践意欲を高める。

PURPOSE

3

静岡県地域赤十字奉仕団等の赤十字関連団体と共に活動することで、青少年赤十字の枠を超えた活動を推進する。



02 スケジュール

本年度は新たな取組として大阪府・兵庫県を舞台とした1泊2日の県外研修や高校生メンバー提案の研修会を開催した。

実施回	開催日	内容	備考
第1回	6月15日(日)	オリエンテーション	Web
第2回	7月13日(日)	炊き出し体験 赤十字防災セミナー	
第3回	8月4日(月) ~5日(火)	未来へのアクション★ 人道実現プログラム	
第4回	9月7日(日)	未来へのアクション★ Cleanup Project	
第5回	10月4日(土)	第13回赤十字救急法競技会	
第6回	11月9日(日)	人道実現プログラム オンライン報告会	Web
第7回	12月1日(月) ~25日(木)	NHK海外たすけあい 街頭募金活動	
第8回	2月8日(日)	年間活動報告・まとめ	Web

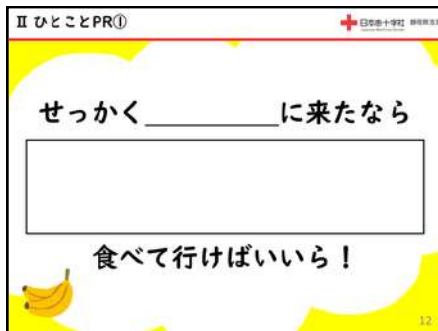
03 本年度の参加校

本年度は14校が参加し、総勢252名で活動を行った。

	学校名	部活動名	活動人数
1	静岡県立稲取高等学校	ボランティア部	10
2	静岡県立三島南高等学校	JRC部	33
3	静岡県立沼津商業高等学校	地域活性ボランティア班	15
4	富士市立高等学校	総合カルチャー部JRC	23
5	静岡県立吉原高等学校	JRC部	23
6	沼津中央高等学校	インターアクト部	12
7	静岡県立沼津特別支援学校伊豆田方分校	ボランティア部	39
8	清水国際高等学校	ウェルフェア部	15
9	静岡サレジオ高等学校	ボランティアサークル (VS)	7
10	静岡県立清流館高等学校	JRC (福祉) 部	9
11	静岡県立藤枝東高等学校	JRC部	10
12	静岡県立島田商業高等学校	ボランティア委員会、放送部	38
13	静岡県立掛川東高等学校	ボランティア部	16
14	静岡県立湖西高等学校	2年生	2

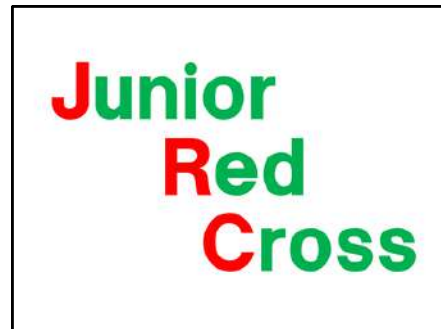
04 第1回 「オリエンテーション」

赤十字の理念や青少年赤十字活動、万博との関係性について理解を深めた。これにより、参加者の赤十字活動に対する関心を高め、今後の実践につながる基礎的な学びの機会となった。



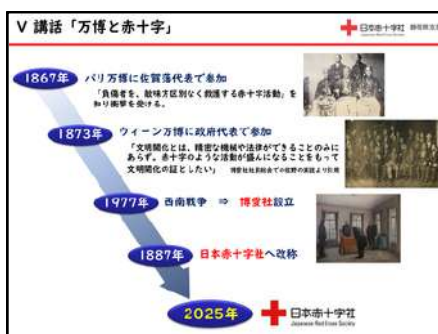
アイスブレイク

参加者の緊張をほぐし、研修に参加しやすい雰囲気づくりを行った。



赤十字と青少年赤十字

赤十字の理念および青少年赤十字の活動について説明し、理解を促進した。



万博と赤十字

万博と赤十字の関係性に触れながら、国際的な人道活動への理解と関心を高めた。

研修会スタート!!



05 第2回 「炊き出し体験・赤十字防災セミナー」

実践と体験を通じて防災・減災への理解を深めた。
地域ボランティアとの協働や避難所運営の疑似体験を通して、「自助」「共助」の視点を具体的に学ぶ機会となった。

包装食袋を使った炊き出し体験（クリームパスタ）

地域赤十字奉仕団（ボランティア）の指導のもと、高校生メンバーが調理工程を体験し、災害時における衛生管理や効率的な調理方法を学んだ。



衛生的で水の節約に！
個別の味付けOK！
低コストでお手軽♪



赤十字防災セミナー「ひなんじょたいけん」

避難所を想定したカードゲーム形式のプログラムを通じ、避難者の立場に立って物事を考える視点を学んだ。



06 第4回 「未来へのアクション★人道実現プログラム」

人道支援や災害の歴史に関わる施設の見学および講話を通じて、赤十字の使命と防災の重要性について学んだ。



国際赤十字・赤新月運動館

世界各地で展開される人道支援の具体的事例を通じ、紛争や災害現場における赤十字の活動とその使命を学んだ。

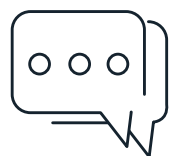
国際社会における人道活動の意義と、赤十字の基本原則の重要性について理解を深めた。



人と防災未来センター

阪神・淡路大震災の教訓をもとに、防災・減災の重要性と命を守る行動の大切さを体験的に学んだ。

過去の災害の記録を通じて、平時からの備えの必要性を再認識した。



大阪赤十字病院

海外派遣経験を持つ助産師による講話を通じ、紛争下の医療支援の実際と、新生児・母子を守る活動の重要性を学んだ。

厳しい環境においても「いのち」を守る赤十字の使命について理解を深めた。

研修風景は次のページガー!



06 第4回 「未来へのアクション★人道実現プログラム」

国際赤十字・赤新月運動館（2025大阪・関西万博）



阪神淡路大震災記念 人と防災未来センター



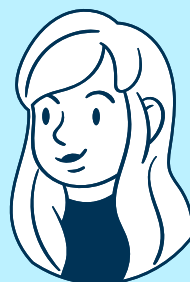
大阪赤十字病院



06 第4回 「未来へのアクション★人道実現プログラム」

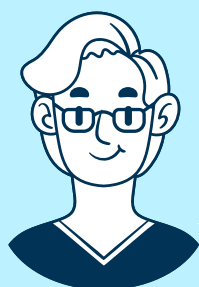
参加者からのフィードバックを集計した結果、以下のような要点が挙げられました。

ニュースの中の出来事は他人事のように感じていましたが、実際に辛い思いをしている人や、解決に向けて努力している人がいると実感し、意識を持てるようになりました。



震災の映像や再現ジオラマは想像以上にリアルで、足が震えるほどの衝撃でした。命の大切さを改めて実感しました。

夢が病院職で、災害や海外にも興味がある私にとって、大阪赤十字病院での講話はとても価値のあるお話でした。感極まりながら話されていた様子が印象的で、人の命をもっと大切にすべきだと感じました。



生徒たちが仲間と共に活動していることや、自分たちの活動が世界の誰かの助けになっていることを実感できました。まずは参加者から部員全体へ伝え、学年や学校全体に共有していきたいと思います。

本研修で得た学びが、高校生一人ひとりの主体的な行動へとつながり、地域の防災力向上と人道の実現に寄与していくことを期待しています。

07 第4回 「未来へのアクション★Cleanup Project」

清掃活動を通じて地域の環境問題やごみの実態への理解を深めた。
また、グループで協力する中で役割分担やコミュニケーションの大切さを学び、主体的に行動する意識を高めた。

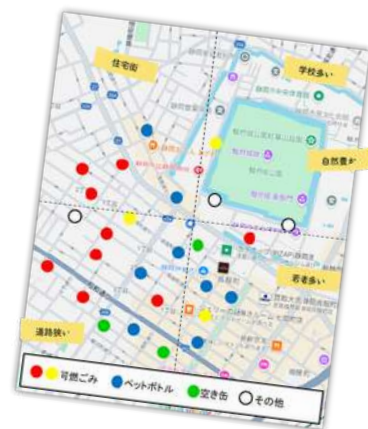


ごみ拾いを通して
わたしたちの街を知る！

仲間と協力して
街をキレイに♪



どこに、どんなゴミが多いか
ハッケン！！



08 第5回 「赤十字救急法競技会」

応急手当の知識や技術を実践的に学ぶとともに、正確さと迅速さの重要性を理解した。また、チームで協力しながら課題に取り組む中で、判断力や連携の大切さを実感した。



誰かのために、息を合わせる。
その連携が、未来をつなぐ。



焦らず、でも速く。
その一手が、次へつながる。



Learn with fun.
楽しみながら知る赤十字〇×クイズ



ハートラちゃんと記念撮影♪



09

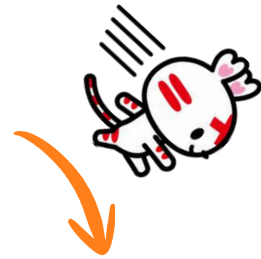
第6回

「人道実現プログラム オンライン報告会」

人道実現プログラムで学んだことを報告会で共有することで、学びの深化を図った。また、未参加の生徒に対して、赤十字の活動や防災の教訓への理解を広げることができた。

WHAT WE LEARNED

世界の人道課題を「自分ごと」として捉える視点
命の重みと、支援する人の想いに触れる体験
防災・減災の重要性と、備える勇氣
仲間とともに学び、感じ、考えた時間



VOICES

「ニュースの中の出来事が現実として迫ってきた」
「命の大切さを、心と体で感じた」
「夢とつながる学びができた」
「避難は勇氣ある行動だと実感した」
「仲間とともに、世界とつながる力を感じた」
「赤十字の一員（青少年赤十字）として誇らしい」
「仲間との出会いが自信につながった」



LOOKING AHEAD

この学びを、学校・地域・仲間へ伝えていこう
小さな行動が、未来を変える一歩になる
青少年赤十字の一員として、「人道」実現を目指そう



FINAL MESSAGE

「未来へのアクション☆人道実現プログラム」は、
ここからがスタートです！



10 第7回 「NHK海外たすけあい街頭募金」

募金活動を通じて、海外で支援を必要とする人々への理解を深めた。
また、街頭での呼びかけを通じて、思いを伝えることや社会とのつながりの大切さを感じる機会となった。



12月12日
サントムーン柿田川



12月13日
サントムーン柿田川
伊豆箱根鉄道三島駅
三嶋大社
東急ホテル



12月19日
蓮華寺池公園

12月21日
掛川花鳥園

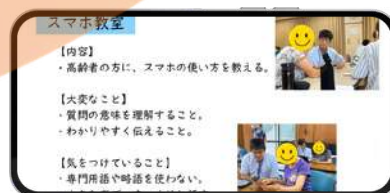


沼津中央高校・三島南高校
沼津商業高校・吉原高校
沼津特支伊豆田方分校
藤枝東高校・掛川東高校
清水国際高校

11

第8回 「年間活動報告・まとめ」

各学校の活動を知ることによって新たな気づきや視点をするとともに、自校の取組を発展させるヒントとなり、次年度の活動創出や内容の充実につながるきっかけとなった。



12 事務局からのメッセージ

今年度の研修会に参加してくれた皆さん、
本当にありがとうございました。

それぞれが考え、悩み、仲間と意見を交わしながら過ごした時間は、
決して「特別な誰か」のためのものではなく、
皆さん一人ひとりの中に確かな変化を生み出したはずです。

青少年赤十字の活動は、小さな気づきや行動の積み重ねから始まります。
誰かのために動くこと、自分にできることを考えること、
その一つひとつが、社会を少しずつ優しく変えていきます。

そして、その中心にいるのは、間違いなく皆さんです。

今回の経験を、自分の学校や地域での新たな一歩につなげてください。
皆さんの行動が、次の誰かの勇気になります。

また来年度、さらに成長した皆さんと出会えることを、
心から楽しみにしています。

日本赤十字社静岡県支部
組織振興課 奉仕・青少年係

作成：  日本赤十字社 静岡県支部
Japanese Red Cross Society

〒420-0853 静岡市葵区追手町44-17
TEL 054-252-8131 FAX 054-254-5830